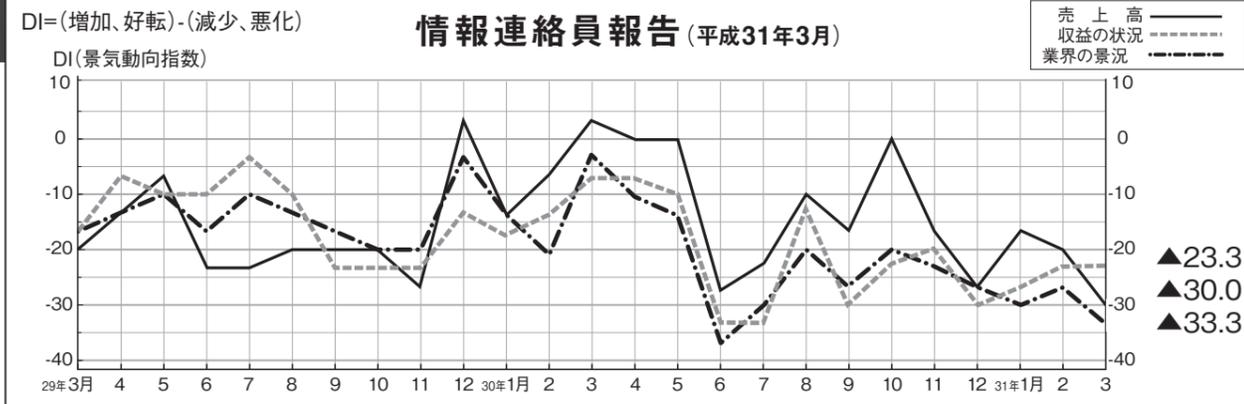


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年3月 (前年同月比)



業界の状況 | ☁️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>食品大型展示商談会が終わり、活発な商談が行われている。食の安心・安全の観点より、アジア圏からの商談が特に多くなり今後が期待される。国内市場は多くの食品が値上げになりそうである。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>需要の低迷状態が続いている。前年同月比77.3%。30/4~31/3累計前年度比92.8%</p>
<p>酒類製造</p> <p>一般酒の低迷は変わらずだが、比較的順調であった。純米、吟醸タイプの伸び悩みも続いている。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比93%。市況は、減少状況が続いている。</p>
<p>テントシート</p> <p>通常年度の環境に戻った感じがある。</p>	<p>機械団地</p> <p>季節的に売上や収益を伸ばす企業もみられるが、団地内の景況は各業種とも概ね横ばいで推移している。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキ共に搬入量は一割程度の減。価格については、スギ・ヒノキ共に横ばいの状況となっている。</p>	<p>刃物製造</p> <p>4月からの価格改定の前ということで受注も若干増加した。しかし供給がおぼつかない状況であるため苦慮している。</p>
<p>製材</p> <p>特に変化無く現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>操業度は、引き続き高い水準で推移している。</p>
<p>製紙</p> <p>日本市場からAPP(アジア最大級の総合製紙メーカー)が撤退表明し、国内家庭紙業界は品薄状態となっているにも拘らず、製品値上げが進まないのは納得し難い。県内家庭紙業界は今後の展開に期待する。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>3月製品会の前年度同月比は82%であった。観光客への水害の影響は2月まででどん底を脱出したが、小売店の売り上げは未だ低迷気味である。</p>
<p>印刷</p> <p>通年3月度は最需要期であるにも関わらず県内需要は官公需、一般共に低調に推移。県外需要に関しては業種によって差も有るが微減。選挙特需もあつたが、全体では微減という厳しい結果となった。</p>	<p>卸団地</p> <p>景気回復が感じられないため、3月も引き続き低調な印象を受ける。外食店は選挙時期に閑散期となる上、大型連休を控え低調な印象を全体的に感じる。</p>

<p>青果卸売</p> <p>1~2月の昨対比は入荷減・単価高の為120、115%であったが、3月は入荷減で単価100%強と落ち着いた。昨年11月後半から入荷減・単価安のダブルパンチが続き、昨対比で多少持ち直しているが苦戦している。</p>	<p>商店街 (四万十市)</p> <p>菜の花まつりは、多くの市民・観光客で賑わった。また、3月で閉店する店舗が散見され、同じ業種間での淘汰が進んでいるようである。飲食店では、送別会の団体客が多く繰り出しており、4月以降も期待したい。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>マグロの入荷量はかなり減少気味。小物類は風の影響で去年より入荷量が3~4割減少。カツオは九州産(宮崎、鹿児島)の大きい物が入荷。ブリは地もの産が去年並みに入荷していた。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>観光オンシーズンとなり、個人客の動向が活発化したことに加え、学生スポーツの大会、コンサート関係者による滞在など宿泊稼働は予想外に好調であった。</p>
<p>各種小売 (土佐市)</p> <p>3月も特に変わらず横ばい状態。これからに期待。</p>	<p>飲食店</p> <p>天候にも恵まれ、県内・県外共に集客良く売上が増加した。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>中東産原油市況は、OPECの減産合意により当面は下落の可能性は低い。原油調達コストが大きく変動しなかったことを受け、石油元売り会社の仕切り価格は据え置き。高知県の石油製品価格は変動なし。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同月対比85%、全旅クーポン合計70%。昨年度同様のイベント開催がない為、売上が減少している。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>3月度は、全体で前年比99.5%、冷蔵庫は102%、洗濯機98%、大型テレビ82%、リフォームは好調で101.6%であった。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比68.9%、前年同月比79.7%。平成30/4~31/3累計は前年同月累計比89.9%の水準。3月の公共工事請負金額は、前年同月比89.4%、前年対比累計では96.4%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>業界全体の台数不足に伴い、展示車の減少や販売価格帯にムラがある(中間価格帯の減少)が、全体としては前年並。消費者の動向は微増。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事は、+37%の前年同月比137%となった。高知中央地区の伸びが大きい。</p>
<p>商店街 (安芸市)</p> <p>ひなまつりのイベントに合わせて、商店街の店舗にもひな人形を飾った。また、幼児が新聞ドレスを作成し、商店街をパレードするイベントを行った。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格は前月に引き続き値上げとなり、経費増、人手不足等、組合員事業者にとっては厳しい年度末となった。組合実績も組合員減少により前年を下回った。</p>
<p>商店街 (高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上：前年比112.8% 台数：前年比107.8%。地価公示価格の発表やオーテピア効果もあり、28年ぶりに前年比を上回った。中心街への投資も上向き傾向にあるように感じる。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入：102.7%、輸送回数：102%。当月の実働率(車両稼働率)は65.7%。運転者不足より車の稼働が減少するばかりである。</p>

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

